

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

<http://www.mito.jrc.or.jp>

2024.08
Vol.45

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

虹



乳がん特集

乳がん検診を行う乳腺専門医と、患者さまを支える
水戸日赤自慢のプロフェッショナルについて、ご紹介します。

P1-3: 乳がん特集

P4: 登録医紹介
受診時にはマイナ保険証をご利用ください

水戸日赤の乳がん診療の特徴

乳がんは、日本人女性において、罹患者数第1位のがんです。

これは、約9人に1人が乳がんを発症する計算であり、

特に40代～60代の働き盛りや子育て中の世代が高い割合で発症しています。

乳がんの診断・治療は日々進歩しており、そのぶん患者さまが選択される

治療法も極めて多様かつ複雑になってきています。

「100人いれば、100通りの乳がんがある。だから患者さんとしっかり

向き合って治療に臨まないとな。」と、故・佐藤宏喜名誉院長は

度々話しておられました。実際に乳がん診療は、患者さまの病型だけでなく、

様々な背景も含め、全く同じものはありません。

当院では、乳腺外科副部長 栗原俊明医師を中心とした、乳がん治療の

プロフェッショナルたちが、乳がんと診断された患者さまに、

ご自身に合った治療を選択いただき、治療に向き合うことができるよう、

サポートしております。

これからも、先人達が築いた地域の皆さまからの信頼に

応えることができるよう、当院乳腺外科は

力を尽くしてまいります。



乳腺外科副部長 栗原 俊明

2009年に慶應義塾大学医学部卒業、2019年4月 水戸赤十字病院着任。

日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺専門医・認定医

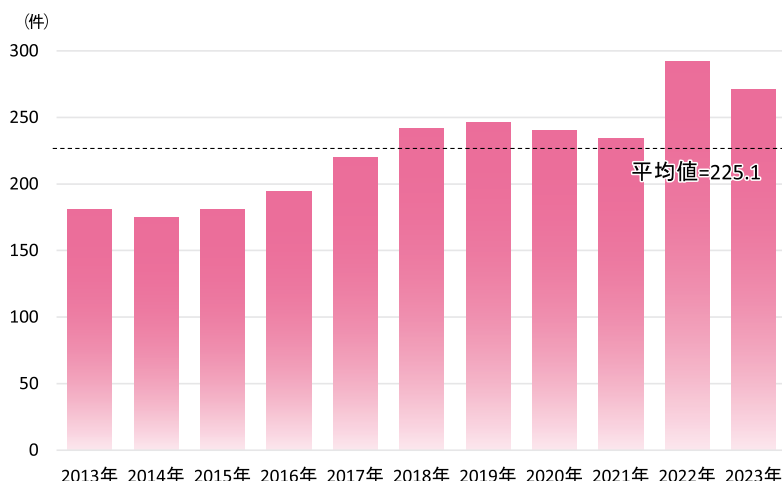
日本乳がん検診制度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医師

JOHBOC e-learningセミナー修了 緩和ケア研修会修了

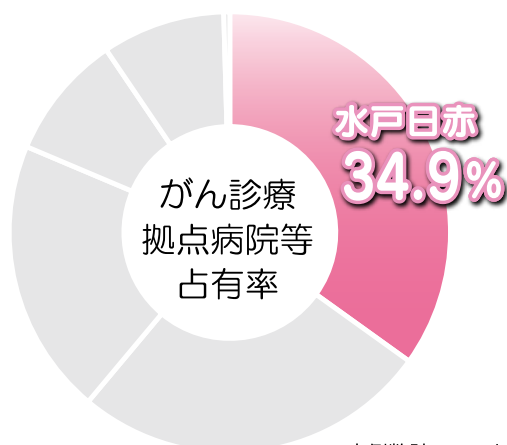
水戸日赤の乳がん診療実績

当院の乳がん診療実績は、新型コロナウイルスの蔓延以降も毎年増加を続け、年間新たに200人以上の方が当院での治療を選択しております。これまで長きにわたり、故・佐藤名誉院長が担ってきた水戸医療圏随一の症例数は今、栗原医師に引き継がれております。

水戸日赤の初診乳がん症例数年次推移



2022年 乳がん初回治療患者割合 (水戸医療圏+ひたちなか・常陸太田医療圏)



乳がん診療の流れと水戸日赤 **自慢の** 乳がん診療プロフェッショナル

① 診断～手術治療

まずは、患者さまから乳房の腫瘍に気付いたきっかけを伺い、その腫瘍が「がん」かどうか、視触診、超音波検査、マンモグラフィを撮影し、針生検で組織を採って診断を行います。がんの疑いが濃厚である場合は、MRI検査およびCT検査でがんが乳房内にどの程度広がっているか、リンパ節転移があるか等、詳しく調べます。検査の結果を総合的に評価して、がんの病期を決め、患者さまが手術を安全に行うことが可能な状態であれば、手術の方法（部分切除・全切除・リンパ節郭清の範囲）について考えていきます。また、乳房再建の希望があるか、妊娠について希望があるかについても、この時点で確認をさせていただき、必要に応じて対応いたします。

② 放射線治療

手術によって目に見えるがんを取り切ったとしても、目に見えない小さながんが残っている場合があります。そのため、乳房部分切除をした場合の残った乳房や、リンパ節転移術後の追加治療のために、放射線治療を行います。通常は、5週間程度、毎日通院していただき、計約25回の照射を行います。放射線治療を行う「リニアック棟」は、この秋、新棟が完成し、画像誘導放射線治療（IGRT）という技術を搭載した新たな放射線治療用機器を導入し、2024年12月末に稼働予定です。

③ 薬物治療

乳がんの組織タイプに合わせて、ホルモン療法、化学療法、抗HER2療法を組み合わせで行います。がんの手術前に薬物療法を行う際は、乳房部分切除の希望がある患者さまに、診断時の腫瘍の大きさを小さくする目的で行う場合と、皮膚や胸の筋肉への浸潤などがあるため、そのままでは安全な手術が困難な時に行う場合の2つがあります。術後の薬物療法は、できる限り再発の可能性を減らす目的で行います。再発や転移が見つかった場合についても、薬物療法は乳がん治療の鍵となるものです。

④ 遺伝学的検査と遺伝カウンセリング

当院では2020年4月よりBRCA遺伝子の検査が保険診療で可能となり、術前の手術方針や薬物治療の選択のため、認定遺伝カウンセラー®と乳腺外科が連携し、遺伝カウンセリングを行っております。遺伝性乳がん卵巣がん症候群等と診断された場合は、リスク低減手術やサーベイランスなど、患者さまに合わせた選択を用意しています。また、薬物治療の状況に応じて、患者さまの治療の選択肢を広げるために、がん細胞の遺伝子を一度に数百個調べることが可能な、がん遺伝子パネル検査を提案する場合があります。

①～④まで幅広く介入します!



乳がん看護認定看護師
鈴木 和子 (右)
外科外来看護師
藤本 成美 (左)

②なら、私たちにお任せ!



認定医学物理士 塩谷 浩之
がん放射線療法看護認定看護師
土尻 美奈子

③は、私たちがサポート!



がん薬物療法認定薬剤師
小澤 勇人
がん化学療法看護認定看護師
秋山 千恵

④メインで、①も担当します!



認定遺伝カウンセラー®
長谷川 梓乃

水戸赤十字病院登録医紹介

当院の基本方針である「地域に愛され、信頼される病院」「安全かつ良質な医療の提供」を推進するための心強いパートナーとなる登録医の先生をご紹介します。

くらのクリニック

当院では、病気や身体の不調で不安を抱えていらした患者さまに、できる限り笑顔で帰っていただけるように、一人一人に合わせて話しやすい雰囲気を作ることを大切にしています。患者さまの立場でお話を聞き、希望に沿った検査・治療を行うように努めています。

例えば、高血圧症や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病では食事や運動などの指導を優先し、可能な限りお薬に頼らない治療をすすめています。

何かお悩みがあれば、ぜひ気軽にご相談ください。

内科と循環器内科は院長が担当します。循環器内科医として不整脈や虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症)、心不全などをメインに診療を行ってきましたので、循環器の疾患には幅広く対応することができます。

皮膚科は副院長が担当し、赤ちゃんからご年配の方まで幅広い年齢層の診療を行っています。漢方薬を使った治療に関しても経験と知識があります。

近隣の病院とも連携しており、より精密な検査や治療が必要な場合には迅速に紹介することが可能です。

また、患者さまの利便性を考え、診察待ちの人数がわかる「診察順番確認システム」を導入しています。これからも新しい技術やシステムを取り入れていながら、患者さまのお役に立てるよう努めてまいります。



院長 蔵野 康造(くらのこうぞう)先生



副院長 蔵野 みのり(くらのみのり)先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	休	●	●	●	休
14:30~18:00	●	●	休	●	●	休	休

*受付時間 7:30~12:00~

住所: 水戸市堀町916-10

駐車場有(40台)

TEL: 029-257-6111

診療科: 内科、循環器内科、皮膚科

HPはこちらから!



受診時にはマイナ保険証をご利用ください

令和6年12月2日に現在の健康保険証は廃止となり、マイナンバーカードが保険証となる予定です。受診時にマイナ保険証を利用いただき、必要な情報提供に同意することで、次のようなメリットがあります。

◆はじめての医療機関でも、医師や薬剤師が、過去に処方された薬や診療情報をデータで確認できるため、より適切な医療が受けられます。

◆高額な医療を受けることになった際、限度額適用認定証がなくても、限度額を超える分を支払う必要がありません。

まだマイナ保険証をお持ちでない方は、ぜひマイナンバーカードの取得および健康保険証利用登録をお願いいたします。詳細はマイナンバーカード総合サイトをご確認ください。

*令和6年12月2日時点で有効な健康保険証は、その時点から最大1年間有効です。

マイナンバーカード
総合サイトはこちら



産科の電話予約について

受診希望の妊婦さんからの電話予約を受け付けております。

☎ 029-221-5177(代)

受付時間: 9:00~16:30(月~金)

*休診日(土・日・祝日など)を除きます。

「産科外来の
予約を希望」と
お伝えください。



1分アンケートに
ご協力お願いします!

こちらのQRコードを読み取ってご回答
いただけます。
病院広報誌「虹」をより良くするため
に、皆さまのお声をお聞かせください。